

授業基本情報 / Course base information

| | | | |
|--------------------------------|--|--------------------------|-------------|
| 科目コード /Subject Code | AT503200 | ナンバリング /Subject Code | LAOTH1054-C |
| 科目名 /Subject Name | 地域創生入門 | | |
| 英文科目名 /Subject English Name | Introduction to regional vitalization | | |
| 担当教員 /Teacher Name | 石田 陽介, 木原 奈穂子, 長曾我部 まどか, 谷口 美也子, 松浦 治代, 清水 克彦, 多田 憲一郎, 竹内 潔, 山中 啓介, 影山 智明, 岩崎 亘典 | | |
| クラス /Class | | 開講学期 /Class | 前期 |
| 対象学年 /Lectures Target | 1,2,3,4 | 開講時期 /Lectures Target | 前期 |
| 講義室 /Room | 共通教育棟C31講義室 | 科目区分 /Room | 全学共通科目 |
| 曜日・時限 /Week・Hour | 水 5 | 単位区分 /Week・Hour | 選択 |
| 授業形態 /Lecture Form | 一般講義 | 単位数 /Lecture Form | 2.0 |
| 準備事項 /Matter of Prepare | | | |
| 備考 /Note | | | |

授業概要情報 / Course description

| | |
|---|---|
| 担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内 | 地位価値創造研究教育機構 地域創生教育推進室 |
| オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内 | 水曜日13-15時 |
| 担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内 | is@tottori-u.ac.jpに連絡してください。 |
| 授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内 | 地域には様々な顕在的・潜在的な課題があります。これらがなぜ課題であるのか、なぜその解決が容易でないのか、また、どこに解決の方向性を見出しているのかを知るための授業です。具体的には、現在その解決に取り組んでいる活動やそこでの考え方や教訓を教材とし、地域における課題や新たな仕組みやビジネスへの展開の実際を理解してもらいます。その際、地域の課題は必ずしも特定の分野に閉じていないことから、複数の分野をまたいで話題を準備し、自身の専門分野の強みや限界の理解を促します。 |
| キーワード /Keywords /4000文字以内 | 地域創生, 地域社会づくり, 人口減少, 少子高齢化, アートプロジェクト |
| 到達目標 /Objectives /4000文字以内 | 人口減少に直面する地域やそれらと同様の課題を有する地域が抱える社会的な課題を理解するとともに、課題解決の方向性について理解することができる。 |
| 他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内 | 「地域創生推進プログラム」における必須科目です。このプログラムの趣旨や構成について、本授業の第1回目でガイダンスをします。なお、このプログラムには、学部ごとに担当教員(「世話教員」と言います)がいます。プログラムの修了を目指す学生は、必要に応じて世話教員を訪問し、履修の相談に乗ってもらってください。 地域学部: 多田憲一郎教授, 医学部: 深田美香教授, 工学部: 長曾我部まどか准教授, 農学部: 木原奈穂子講師 |
| 教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内 | 適宜, 資料を配布します。 |
| 授業の形式 /Classwork /4000文字以内 | 講義を主体としますが、一部、オンデマンド形式にて行います。 |

| | | |
|---|---|--|
| <p>成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内</p> | <p>各回レポートを課し、それらの合計点で評価します。</p> | |
| <p>担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内</p> | <p>現場の第一線で活躍している方、教員や外部の講師にも参加していただきますので、地域が実際にどのように運営されているのかも分かってもらえます。日本で最も人口が少ないここ鳥取で、地域創生の最前線を知ってください。</p> | |
| <p>授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内</p> | | |
| <p>教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内</p> | <p>本科目を受講して得られる知識や能力は、本学が教育グランドデザインで定める以下の「現代的教養」と「人間力」の要素に該当します。</p> <p>現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識) 現代的教養(特定の専門分野に関する理解)</p> | |
| <p>ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内</p> | <p>本科目を受講して得られる知識や能力は、「卒業認定・学位授与の方針」に定める「学生が本学における学修と経験を通じ身につける能力」のうち、以下に該当します。</p> <p>1 文化、社会、自然に関する幅広い知識・理解、これを土台とした特定の専門分野に関する深い知識・理解、知識獲得のための方法と技能、そしてこれらを統合した豊かな教養</p> | |
| <p>実務経験 /Work experience /2者択1</p> | <p>有</p> | |

| | |
|---|---|
| 実務経験と授業科目の関係 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内 | 実務経験との関連：地域計画の立案に携わった経験がある教員が、その経験を活かして講義全体を企画するとともに、具体的な地域課題や解決の方向性の視点を講義する。 |
|---|---|

授業計画詳細登録/Course schedule

| 回/Times | 授業内容 /Course Contents | 予習・復習内容 /Contents of Preparation/ Review | 備考 /Note |
|---------|--------------------------|--|---------------|
| 1 | ガイダンス | 身近な地域創生の事例について予習し、授業後はその多様な側面について復習する。 | 石田陽介(地域価値機構) |
| 2 | 商品・サービスを軸とした地域企業の戦略 | PLC(プロダクト・ライフ・サイクル)について予習し、授業後は地域企業の事業内容を調査し、それぞれの企業のターゲット顧客と顧客への提供価値を調査・復習する。 | 山下隆弘(地域価値機構) |
| 3 | 戦後日本の地域開発政策と地域経済 | これまでの地域づくりの歴史について予習し、授業後はこれらと今後の動向について復習する。 | 多田憲一郎(地) |
| 4 | 住民参加による協働のまちづくり | 住民参加による協働のまちづくりの実態を予習し、授業後はそれらの動向について復習する。住民参加による協働のまちづくりの実態を予習し、授業後はそれらの動向について復習する。 | 長曾我部まどか(工) |
| 5 | 保健・医療サービス維持の課題と将来像 | 医療や福祉の仕組みとサービスに関する実態を予習し、授業後はその将来像を復習する。 | 松浦治代(医) |
| 6 | 自然環境の保全・再生による地域活性化 | 農業の実態について予習し、授業後は今後の方向について復習する。 | 木原奈穂子(農) |
| 7 | 地域資源である木材の利用と課題 | 木材利用の現状について予習し、授業後は今後における課題について復習する。 | 山中啓介(農) |
| 8 | オープンデータでみる地域創生 | 農村地域の運営とデータサイエンスについて予習し、授業後はこれらの今後の動向を復習する。 | 岩崎亘典(農) |
| 9 | 海洋資源の保全と持続的な利用 | 海洋および海洋資源の実態を予習し、授業後はそれらを持続的に利用する方策について復習する。 | 清水克彦(地域価値機構) |
| 10 | 地域とものづくり教育 | 地域における、ものづくり教育に関連するイベント等の事例について予習し、授業後はその地域的な意義と役割を復習する。 | 影山智明(工) |
| 11 | インフラ維持管理の現状と未来 | インフラの老朽化の現状を予習し、授業後は今後の管理のあり方について復習する。 | 野津伸治(鳥取短期大学) |
| 12 | 地域工業のいま | 地域における工業の規模や主な工業の特徴について予習し、授業後は地域における持続的な工業のあり方について復習する。 | 影山智明(工) |
| 13 | ダイバーシティの視点で考える地域の生活 | ダイバーシティとは何かについて予習し、授業後は身近なダイバーシティの課題について復習する。 | 谷口美也子(地域価値機構) |

